

事務事業名	予算編成・予算管理事務		所属部局	総合政策部	単位番号	2052				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	財政行政課	課長名	保坂 正彦				
			所属担当	財政担当	担当者名	増山希世彦				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	01	一般	02	01	04	020	02
施策	01	財政の健全化の推進		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	地方自治法・南アルプス市財務規則						
事務事業の概要	○市の政策、経営方針に基づき予算編成方針を策定し、効果的で適正な予算編成を行う。		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	手法としては、行政評価により事務事業の見直しを行い、効果的で効率的な予算配分方式に22年度から取組んだ。(補正予算は従来の査定方式により編成)		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	・予算配分額の決定 ⇒ 概算入力 ⇒ 予算調整会議 ⇒ 市長査定 ⇒ 予算書作成		需用費	1,966						
									計	1,966

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	26年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	予算配分方式による当初予算編成。査定方式による補正予算編成。	予算配分方式による当初予算編成。査定方式による補正予算編成。		名称	単位
				ア 当初予算編成に要した時間	時間
				イ 当初・補正予算編成回数	回
				ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・当初予算編成		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 前年度予算編成後の一般財源総額	千円
				イ 本年度予算編成後の一般財源総額	千円
				ウ 対前年度比較	%
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・施策別配分により適切な予算配分を行う。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 年度末(財政調整)基金繰入金	千円
				イ 年度末(財政調整)基金積立金	千円
				ウ 年度末(財政調整)基金残高	千円
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・健全な財政運営を堅持する。 (総合計画実施計画、財政計画、事務事業マネジメントシート計画額の連動を図る)		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 経常収支比率	%
				イ 実質公債費比率	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,483	2,234	1,966	2,366	2,366	2,366	
		事業費計(A)	千円	2,483	2,234	1,966	2,366	2,366	2,366	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
		延べ業務時間	時間	9,366	9,366	9,366	9,366	9,366	9,366	
		人件費計(B)	千円	42,625	42,625	42,625	42,625	42,625	42,625	0
		(A)+(B)	千円	45,108	44,859	44,591	44,991	44,991	44,991	0
活動指標	ア	時間								
		回	8.0	8.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
対象指標	ア	千円	18,819,548.0	18,562,776.0	19,281,794.0	18,606,662.0	18,801,231.0	18,425,206.0		
		千円	18,562,776.0	19,281,794.0	18,606,662.0	18,801,231.0	18,425,206.0	18,056,701.0		
		%	-1.4	3.9	-3.5	1.0	-2.0	-2.0		
成果指標	ア	千円	0.0	0.0	60,930.0	0.0	0.0	0.0		
		千円	600,946.0	302,613.0	2,290.0	1,028.0	1,028.0	1,028.0		
		千円	3,867,781.0	4,170,394.0	4,111,754.0	4,112,782.0	4,113,810.0	4,114,838.0		
上位成果指標	ア	%	90.9	81.9	81.9	81.9	81.9	81.9		
		%	12.1	10.2	8.0	6.7	6.5	6.9		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	・地方自治法(昭和22年公布)により、財務に関する取扱いが規定された。これを受け、南アルプス市財務規則により平成15年4月1日(合併時)から開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	普通交付税の合併特例措置、また、有利な財源である合併特例債を活用して予算編成をしてきたが、今後、その財源が無くなるため、予算削減に努めている。平成22年度(平成23年度当初予算編成)からは予算配分方式により行政評価システムの活用により予算配分を始めた。事務事業を見直すきっかけになり、不要な事業の廃止や統合等の事務事業整理ができ、予算の削減が図られるといった職員の意見がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	これまで、予算査定方式により予算の削減を図ってきたが、平成22年度からは施策別配分方式により施策別予算調整会議を経て予算編成を行うシステムとした。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	予算書、予算概要書を職員が作成し、コストの削減を行った。

事務事業名	予算編成・予算管理事務	所属部	総合政策部	所属課	財政行革課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 適正な予算編成、予算管理を行うことにより、「財政健全化の推進」「行政改革の推進」につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 継続的な事務事業(行政サービス)の実施にあたり、財政計画に基づき市財政行革課が予算編成を行う必要がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 真に必要な事務事業(行政サービス)を継続するにあたり、財政計画に基づいた予算編成、予算管理を行うことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事務事業評価を予算編成に反映させ、効率的で効果的な予算が編成されている。今後も、より良いシステムになるように、さらに研究し、改善を加えていく。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 予算編成を行わなければ、事務事業(行政サービス)に適切な予算配分ができない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 予算編成を行わなければ、事務事業(行政サービス)に適切な予算配分ができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 予算書、予算概要書の印刷を、できる限り外注せず職員が製本することで経費を抑えている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 財務会計システムを利用し、業務時間の削減を図ってきたが、常に業務の見直しを行い削減に努めることは必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者である市民全体に対し公平・公正となるように、適切な予算編成を行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当初予算については、施策別枠配分による予算編成により、以前よりは財政担当者の業務時間の削減は図れている。反面、財政担当者が、予算内容の細かい部分まで把握することが難しくなっている。また、直接予算編成に携わる各課担当者の基礎的な事務処理に対する財政担当者の指導が行き渡らない部分が出てきている。 業務時間の削減と相反する課題を解決するための研究が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑨	コスト削減優先度評価結果	③																	
成果優先度評価結果	⑨																					
コスト削減優先度評価結果	③																					